

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	キャリア開発講座VI		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	バイオサイエンス専攻 3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 コミュニケーションスキルは、卒業研究や就職活動のみならず、社会人として必須のスキルである。一方で専門学校に在籍する学生はコミュニケーションスキルに課題を感じている学生も多い。本講座では卒業研究のディスカッション、就職活動での履歴書作成や面接、社会人になってからの報連相、全てに通じるコミュニケーションスキルについて学習する。						
《成績評価の方法と基準》 課題の提出及び内容・演習の内容70% 出席点20% 平常点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 特になし						
《授業外における学習方法》 コミュニケーション・プレゼンテーション・ディベートの情報収集、発表準備、発表練習を行う						
《履修に当たっての留意点》 コミュニケーションは会話ではなく、情報伝達のツールであり、プレゼンテーションは一方通行の発表ではなく、相手に理解を求める点でコミュニケーションの一環であることを理解することが必要である						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション技術の中にプレゼンテーション技術が内包されていることを認識し、コミュニケーション技法向上のためのプレゼンテーション技術として説明できる。	特になし	就職活動における面接事例をまとめておき、コミュニケーション・プレゼンテーションとしての評価を行っておく。	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションとプレゼンテーションの関係 成功するプレゼンテーションの条件 論理と情熱			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	論理的な手順によるプレゼンテーションの構成を学習する。	特になし	就職活動及び卒業研究発表を課題とし、情報収集と整理を実施する。	
		各コマにおける授業予定	ロジカルシンキングの考え方 情報の発想(フレームワーク・フリー・プライオリティ)			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論理構成の基礎となる情報収集の考え方と情報整理分析方法を学習する	特になし	就職活動及び卒業研究発表を課題とし、情報収集と整理を実施する。	
		各コマにおける授業予定	情報の整理(ツリー構図・マトリックス構図・プロセス構図)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報伝達に於ける論理構造を学習する	特になし	卒業研究時におけるディスカッションを想定しコミュニケーションの構図を作成する	
		各コマにおける授業予定	論理的なコミュニケーションの考え方 コミュニケーションの技法としての構図(ツリー・マトリックス・プロセス)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報伝達を実行する際の留意点を学習する	特になし	卒業研究時におけるディスカッションの場で技法を実践して確認する	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション・プレゼンテーションとしての情報発信のポイント デリバリー・ツール・ストラクチャーの技法について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論理構造・コミュニケーション・プレゼンテーション技法の向上策としてディベート技法を身につける	特になし	ディベートの課題を与え情報収集整理を行う
		各コマにおける授業予定	ディベートの考え方と目的 ディベートの進め方		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論理構造・コミュニケーション・プレゼンテーション技法の向上策としてディベート技法を身につける	特になし	課題によるディベートの準備を行う。
		各コマにおける授業予定	例題によるディベート演習		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論理構造・コミュニケーション・プレゼンテーション技法の向上策としてディベート技法を身につける	特になし	課題によるディベートの準備を行う。
		各コマにおける授業予定	課題によるディベート演習		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	論理構造・コミュニケーション・プレゼンテーション技法の向上策としてディベート技法を身につける	特になし	課題によるディベートの準備を行う。
		各コマにおける授業予定	課題によるディベート演習		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なプレゼンテーションの手法のポイントを学習する	特になし	卒業研究中間報告会の準備としてスライド作成の情報を収集する
		各コマにおける授業予定	効果的なプレゼンテーションのプロセス メインタイトルの考え方 ポイントの絞りこみ方		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なプレゼンテーションの手法のポイントを学習する	特になし	卒業研究中間報告会の準備としてスライド作成の情報を収集する
		各コマにおける授業予定	情報収集・分析のプロセス 情報収集の留意点・手法・聴衆分析の流れ		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なプレゼンテーションの手法のポイントを学習する	特になし	卒業研究中間報告会の準備としてパワーポイントを作成する
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションツールとしてのパワーポイントの使い方		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なプレゼンテーションの手法のポイントを学習する	特になし	卒業研究中間報告会の準備としてパワーポイントを作成する
		各コマにおける授業予定	スライドの構成・スライド作成の留意点		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なプレゼンテーションの手法のポイントを学習する	特になし	卒業研究中間報告会の準備としてパワーポイントを作成する
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション準備の考え方 台本の作成 リハーサル必要性		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なプレゼンテーションの手法のポイントを学習する	特になし	卒業研究中間報告会の準備と実施に当てる。
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション課題として卒業研究中間報告会の準備 発表演習		